

とんぼを観察しよう

とんぼの一生

ほとんどのトンボが幼虫で越冬し、春に羽化して成虫になります。
(ハッチョウトンボ、ハラビロトンボなど)



ムカシトンボのヤゴ

とんぼの幼虫(ヤゴ)

卵からふ化した幼虫は短いものは1ヶ月あまり、長いものでは5~8年も水の中や土の中で生息します。ヤゴはエラ呼吸をお尻のところ(外からは見えない)でするので、水面で呼吸することはできません。9~13回程度脱皮を繰り返した後に石や草の上にはい上がり、40分から数時間かけて羽化します。



ハッチョウトンボ

とんぼの目

トンボの目は「複眼」といい、一つに約300個以上の目が集まってできています。トンボは昆虫の中でも最も視力が高く、約2m先の物まで見ることができます。この目を使って飛行中にエサを見つけて捕らえることができます。



ハラビロトンボ

とんぼの羽

トンボの羽は前後別々に動かすことができるので静止飛行(ホバリング)やバックもできます。飛行速度は速いもので100Km/hくらいで飛行するトンボもいます。(ギンヤンマなど)



クロスジギンヤンマの脱けガラ

産卵

トンボは種類によってさまざまな産卵のしかたがあり、植物の中や水面、水中、泥の中に産み付ける種類、空中から地面や水面に卵をまく種類などがあります。10日~100日以上かけて卵からふ化し幼虫になります。

季節の過ごし方が違うとんぼ

● 卵で越冬する種類

アカネ属(通称アカトンボ)・アオイトトンボの仲間
ルリボシヤンマの仲間

● 成虫で越冬する種類(日本では3種類のみ)

オツネトンボ・ホソミオツネトンボ
ホソミイトトンボ